

別紙 個人番号利用事務系ネットワーク概要

- 個人番号利用事務系ネットワークはデータセンタセグメント(A)及び単独地域機関セグメント(B)にて構成されており、一般業務端末等が接続されている業務系セグメント(C)とは、ファイアウォールにて隔てられている。
- データセンタセグメント(A)は、データセンタに設置のファイアウォールに直結されているセグメントであり、VLANにより本庁舎及び総合庁舎に延伸している。個人番号を扱う業務サーバ及びパソコンが接続されており、本業務にて設置するサーバについてもデータセンタセグメント(A)への接続とする。なお、接続端末、サーバ数の増加等により、1セグメントでの運用に支障が出る場合は、セグメントの分割を検討する。
- ネットワークの構成上、データセンタセグメント(A)をVLANで延伸できない単独地域機関に対しては、VPNルータによりセグメント分割された単独地域機関セグメント(B)を整備している。なお、単独地域機関は児童相談センター/中勢児童相談所、北勢児童相談所、障害者相談支援センター等の18拠点であり、それぞれ個別のセグメントとなっているため、単独地域機関セグメント(B)は18セグメント存在している。また、一部の業務サーバは単独地域機関セグメント(B)に設置される予定である。
- 個人番号利用事務系ネットワークとその他のセグメントとの通信は原則不可である。特に、インターネットとの通信は例外なく禁止とする。
- 個人番号利用事務系ネットワーク内((A)及び(B)間)については制限を設けない想定であるが、制限する場合であっても、本システムの動作に必要な通信については例外として許可することが可能である。

【ネットワーク概要図】

